

**オムロン株式会社 2022年度上期決算**  
**投資家様向けウェブ・電話説明会 質疑応答（サマリー）**  
**（2022年10月26日）**

**<全社業績、経営・戦略>**

Q：今回キリンテクノシステム社への出資を実行したが、M&Aやアライアンスの考え方を教えてほしい。

A：IABやHCBを中心とした、積極的な投資により事業拡大を目指している。

Q：JMDCの協業の進捗は？

A：着実に検討を進めている。具体的には以下の3点。

- ① イベントゼロに向けたソリューション開発への着手
- ② 双方の販売チャネルを使ったクロスセルの検討
- ③ データを活用した予防医療システムの実装について、パートナー探索含めた実現の検討

**<制御機器事業 関連>**

Q：FY22の受注残について、年度末には正常化するのか？

A：年度末の受注残は少し高いレベルと見ている。上期よりは、かなり解消される見込み。

Q：2Q後半から減速している受注について基調の変化するタイミングはいつごろと見ているのか？

A：現時点で明確なシグナルを感じとっていないが、今後の動向については引き続き、注視していく。

Q：供給力向上につながったのは、どのような施策か？

A：まずはEMS活用。生産だけでなく、部材の調達力も活用した。次に設計変更。調達と生産の拡大がより容易になるよう、実施。これら以外にも多くの活動を経た、総合的な取り組みの結果として供給力を向上させた。

**<ヘルスケア事業 関連>**

Q：FY22は物流コスト増などの一時的要因があるが、利益率改善が見込めるのか？

A：サプライチェーンコストは高止まりしており、それを前提に計画は立てている。経済成長しているエリアや国では売上は好調に推移しているので、生産性を上げてGP率改善を下期以降も進めて行く。